11月 November

ケアサポート志保 しほっこりだより

株式会社　志保
富士宮市野中1044-3
TEL：0544-22-0166
FAX：0544-66-4722
監修　石川

発行日
R8.11.5

日増しに秋が深まり、朝晩の冷え込みに秋の訪れを感じる季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。11月は紅葉が美しく、秋の味覚も楽しめす季節です。一方で、気温の変化により体調を崩しやすい時期でもありますので、暖かくお過ごしください。

素敵な出会いに感謝



10月12日、徳島大学の和泉唯信先生が、当施設にお越しくださいました。
和泉先生は、ALS（筋萎縮性側索硬化症）をはじめとする神経難病の研究の第一人者としてご活躍されている先生です。
当施設の会長もALSを患っておりますが、これまでに感染症による発熱を経験した後、身体の状態が改善するという経過がありました。

このことに関心を持たれた和泉先生が、会長の診察のために来所してくださいました。当日は、会長の状態を丁寧に診察していただきました。 また、この日は秋晴れの気持ちの良いお天気で、富士山もとてもきれいに見え、和泉先生も目の前に広がる富士山の美しさに感激されていたご様子でした。遠方よりお越しいただき、貴重な機会をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。
和泉先生、このたびは誠にありがとうございました。

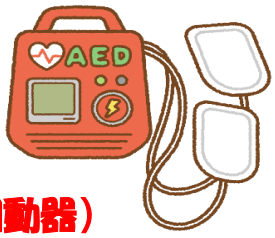
アンビューバッグとAED研修













AED（動体外式除細動器）
心臓の異常なリズムを
電気ショックで正常に戻すための機器

アンビューバッグ（バッグバブルマスク）
自力で十分に呼吸ができない人に、





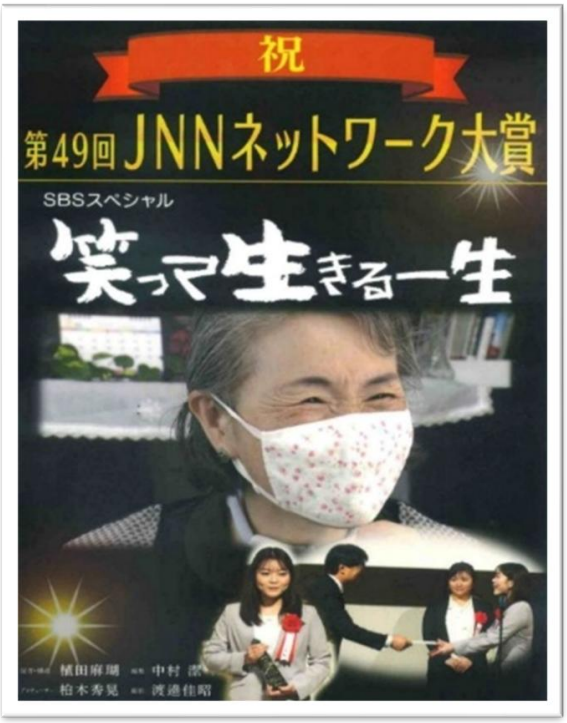
先日、施設内で救命対応の研修を行いました。
胸骨圧迫やAEDの使い方に加え、アンビューバッグ（バッグバルブマスク）の使い方についても教えていただきました。
アンビューバッグは、口から空気を送る際にコツをつかむまで難しさがありましたが、ポイントを確認しながら練習し、少しずつ使い方を身につけることができました。
また、呼吸器を使用されている方へのアンビューバッグの使い方も学ぶことができ、実際の支援を考えるうえで大変参考になりました。
いざという時に落ち着いて対応できるよう、定期的に学び、身につけた知識や技術を振り返ることの大切さを改めて感じました。
今後もこうした研修の機会を大切にしていきたいと思います。

現在のケアサポート志保

・グループホーム　空き状況　残り　2室

・訪問介護　空き状況　あり

平日の医療的ケア（喀痰吸引や経管栄養）が必要な方の訪問介護も可能です！



10月末に、SBS笑って生きる一生～「私が生きる場所～」が、再放送されました！
番組を通して、私たち志保の取り組みや日々の活動について、より多くの人たちに知っていただけたら嬉しいです。深夜帯での放送だったこともあり、見逃してしまった方も多いかと思います。今後の突発的な再放送の予定については、SBSテレビ番組表をご確認ください。また、視聴者からの要望が多い場合は、再々放送が検討されることがあるそうです。静岡放送の公式サイトの問い合わせ窓口やご意見、ご要望フォームからリクエストを送ることもできます。



お問い合わせはこちら
☎.0544-22-0166　.0544-66-4722
Mail.keasaportshiho@yahoo.co.jp

志保HP　ブログ

編集後記

気が付けば、今年も残り2か月となりました。月日の流れの速さに驚くばかりです。皆様は、冬を迎える準備は進んでいますでしょうか。これから寒さが増していきますので、手洗い・うがいや衣服の調節を心がけ、元気に冬を迎えましょう*。